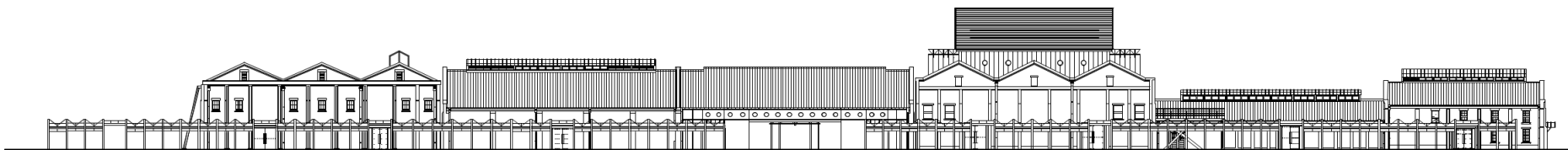


金沢市民芸術村 リニューアル基本構想検討委員会

第1回会議

2025年7月1日



目 次

1 金沢市民芸術村について

2 現状と課題

3 リニューアルの目的

4 リニューアルの方針

(1) 既存施設の修繕

(2) 新施設の整備

5 論点・課題整理

【参考】他都市事例

1 金沢市民芸術村について

施設概要

- 所在地 金沢市大和町 1 番 1 号
- 敷地面積 約10ha
- 開村 1996年（平成 8 年） 10月
- 運営 公益財団法人 金沢芸術創造財団
- 利用時間 24時間、年中無休
- 利用方法 予約制、利用料金が必要（施設・時間帯）



広域地図 (S=1/12,000)



1 金沢市民芸術村について



1 金沢市民芸術村について

いつでも だれでも 自由に 創り、感じ、学び、 響きあう創造空間

糸を紡ぐ工場から、
地域の文化を紡ぐ場所へ

約10ヘクタールに及ぶ緑あふれる広大な敷地には、
かつて紡績工場がありました。

金沢市民芸術村は、吹き抜けの高い天井や赤レンガの壁面など
旧大和紡績倉庫群の魅力を活かして改修し、
市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える施設として、
平成8年(1996年)に誕生しました。

以来、年間およそ20万人が利用する、
地域の文化発信・交流拠点となっています。

金沢市民芸術村は、次代を担う若者たちの文化活動の育成を図り、
市民の多彩な創作活動を支え、個性豊かな地域の文化芸術を醸成
してきた金沢のDNAを紡ぐ場となることを目指しています。

いつでも、だれでも、自由に

— 一年中無休・24時間・自主管理 —

金沢市民芸術村は、年中無休・24時間・低料金で利用できる
施設となっています。

利用者は、早朝から深夜に及ぶまで、退館時間を気にすることなく、
思う存分様々な創作活動に打ち込むことができます。

運営面では、「原状復帰」を原則に、利用者自身が責任をもって
施設を使用する「自主管理方式」をとっています。

これは、自由な表現活動が保証される代わりに
利用者自身も責任を持つ、
金沢市民芸術村独自の運営方法と言えます。


「市民が主役」となるために

— 市民ディレクター制 —

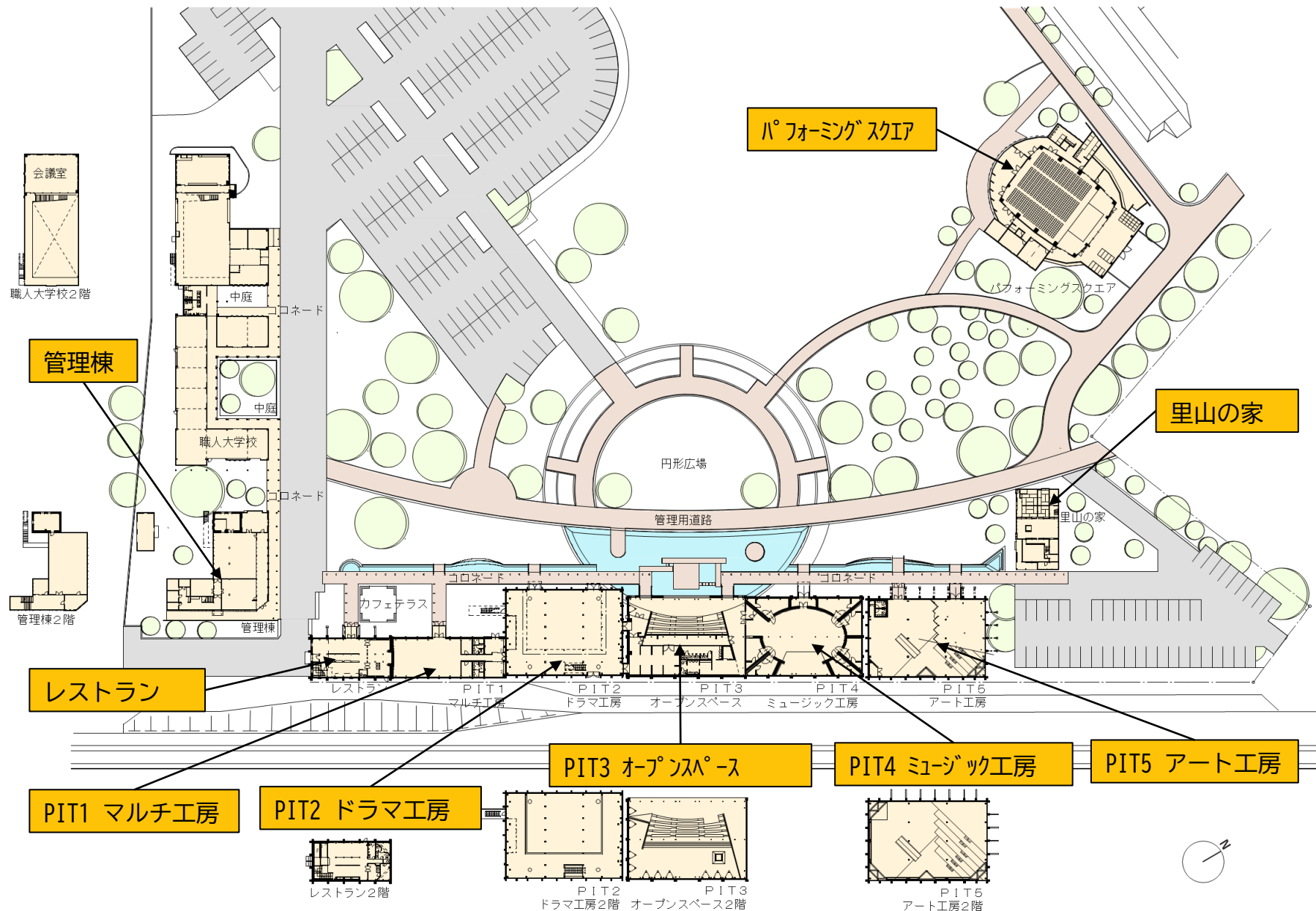
金沢市民芸術村ではさらに、公立文化施設の中で
全国初の「市民ディレクター制度」を導入しています。
「ドラマ」「ミュージック」「アート」の3つの工房には、
演劇・音楽・美術の専門家の中から、バランス感覚に優れ、
ボランティア精神を有する人材を公募で各2名選出し、
工房運営を任せています。

利用者の代表でもあるディレクターたちは、数年間の任期中、
施設利用を活性化し、市民が芸術への関心を深め、
身近に参加できる主催事業(アクションプラン)の企画・立案などに
取り組み、「市民が主役」となる施設運営を行っています。

金沢市民芸術村について

- 
- 1994年
平成6年
- 大和紡績跡地買収完了（金沢市土地開発公社）
- 1996年
平成8年
- 開村
- ・旧紡績工場跡地の倉庫群（第1～7倉庫）及び管理棟を改修
 - ・機械室とコロネードを新設
 - ・里山の家を移築
- 1997年
平成9年
- グッド・デザイン大賞 受賞
- 1999年
平成11年
- 日本建築学会作品選奨 受賞
- 2001年
平成13年
- パフォーミングスクエアを建設
- 2006年
平成18年
- 公立文化施設の顕彰制度・JAFRAアワード（総務大臣賞）受賞
- 2011年
平成23年
- 事務所棟の耐震補強工事を実施
- 2022年
令和4年
- 日本建築家協会・JIA25年賞 受賞

金沢市民芸術村について



1 金沢市民芸術村について

事務所棟

施設使用の申請等を行う事務所と
芸術団体の会議・研修などに利用できる部屋があります。



使用目的	芸術団体などの会議・研修等
床面積	584.01㎡(1F 356.39㎡、2F 227.62㎡) 事務室/59.86㎡、研修室/109.31㎡、第1会議室/20㎡、 第2会議室/14㎡、和室/125.87㎡(62畳)
付属施設、設備	トイレ

PIT1 マルチ工房

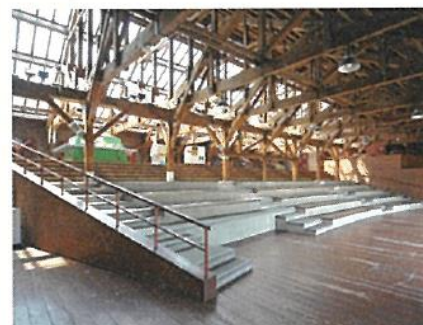


演劇、舞踊、音楽、美術など
多様な創作活動が行える場所です。
身体表現の練習に便利な大型の
鏡付きのスペースとなっています。

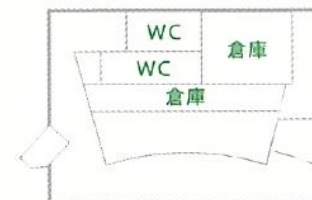


使用目的	練習、展示、制作、その他文化研修、成果発表
床面積	148.34㎡
付属施設、設備	鏡、グランドピアノ、譜面台、展示板、机、椅子、流し台

PIT3 オープンスペース



誰もが自由に使える空間です。
屋外に水上舞台、屋内には心和む
テラスを配した開放的な場所です。



使用目的	休憩
床面積	502.91㎡、水上ステージ/6m×6m
付属施設、設備	トイレ、掲示板、倉庫

1 金沢市民芸術村について

PIT2 ドラマ工房

高い天井と中2階を備えた空間は、演劇人の創作意欲をかき立てる魅力にあふれ、稽古や公演、演劇に関わる活動の場として、地域演劇の拠点となっています。広く四角い空間には、創りたい内容に合わせて、客席や舞台を自由に組み立てることができます。ドラマ工房では、利用者自身が舞台技術も学び、みな責任を持ってこの空間を守っています。



楽屋1



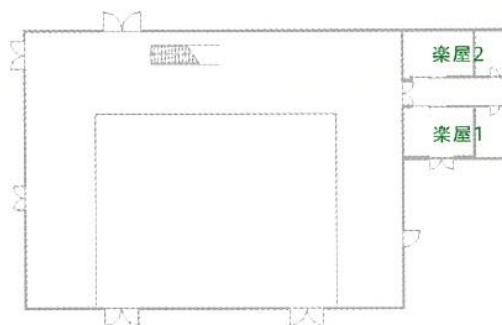
楽屋2



舞台技術者養成講座(綱元講座)



舞台技術者養成講座(照明講座)



使用目的

練習、制作、演劇研修、成果発表

床面積

842.27㎡(1F 546㎡、2F 296.27㎡)、楽屋1 16.65㎡、楽屋2 16.65㎡

付属施設、設備

照明設備、音響設備、平台、箱足、トイレ、シャワールーム等

1 金沢市民芸術村について

PIT4 ミュージック工房

木のぬくもりがただよう空間に、
ステージが設置されたF(中央)スタジオがあり、
その周りに5つの練習スタジオが連なっています。
A～Eのそれぞれのスタジオは、和太鼓やドラムセット、
ピアノなどを備え、音楽の練習に最適な場所となっています。
100人を収容できるF(中央)スタジオでは、ジャンルを超えた
多彩な音楽活動の発表を行うことができます。



Aスタジオ



Bスタジオ



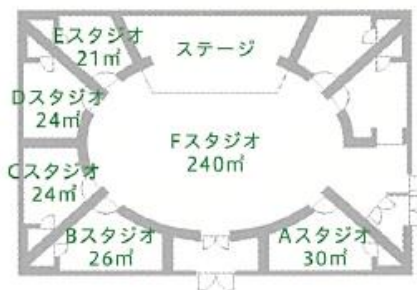
Cスタジオ



Dスタジオ



Eスタジオ



レジデント・コンサート2016



F(中央)スタジオ

使用目的	練習、制作、音楽研修、成果発表	
床面積	497.68㎡(ステージ部分 60㎡)	
付属施設、設備	共通	譜面台、パイプ椅子
	Aスタジオ	太鼓、鏡(6.0m×1.8m)
	Bスタジオ	ドラムセット、音響機器、電子ピアノ、キーボード
	Cスタジオ	アップライトピアノ
	Dスタジオ	グランドピアノ
	Eスタジオ	鏡
	Fスタジオ	音響設備、照明設備、グランドピアノ

1 金沢市民芸術村について

PIT5 アート工房

既成の枠にとらわれず、のびのびとアートを表現できる空間です。個性的な空間を生かして、発表の場(ギャラリー)として、あるいは制作の場(アトリエ)として、さらに新たな創造の場として、様々な活動が可能です。

アマチュアからアーティストまで、アートに関心のある方ならどなたでも気軽にご利用いただけます。



階段



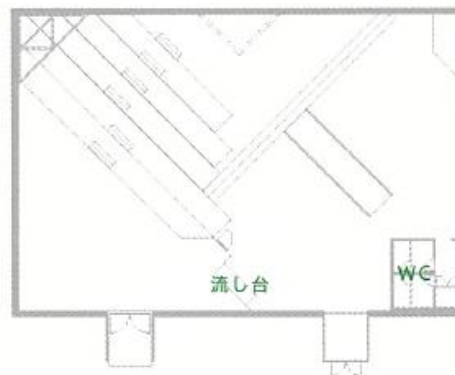
階段上



オリジナルTシャツをつくろう! 2017



OUCHI みんなでつくろう未来の芸術村



使用目的

制作、展示、美術研修

床面積

制作・展示部分/495㎡(階段部分/182.37㎡)

付属施設、設備

トイレ、掲示板、流し台、イーゼル、展示台、ワイヤー、スポットライト等
展示備品

1 金沢市民芸術村について

パフォーミングスクエア

大人数の芸術活動をサポートできるよう、芸術村最大の大練習室を備えている空間です。2つの小練習室では、個人練習にも対応しています。個人で、グループで、大編成での練習にご利用ください。



大練習室



小練習室1



小練習室2

使用目的

練習、成果発表、制作、展示、その他文化研修

床面積

大練習室 403.5㎡ 小練習室1 31.5㎡ 小練習室2 22.0㎡

付属施設、設備

大練習室 グランドピアノ、照明設備、音響設備、舞台設備(平台、箱足、幕類)、鏡、長机、椅子、譜面台、バレエバー
小練習室 長机、椅子、鏡

里山の家

金沢市郊外の古い農家を移築した里山の家は、市民の多目的な文化活動に活用できる施設です。



使用目的

展示、創作、芸術文化に関する研修・会議

床面積

木造2階建 301.51㎡
1階 168.36㎡/土間、オエ(囲炉裏)、和室(6、6、6、4.5畳)
2階 133.15㎡/書斎 52㎡(30畳)、物置 48㎡

付属施設、設備

台所、トイレ、掲示板

既存施設の利用状況

令和6年度 施設利用状況

施設名	利用可能 日数(日)	利用可能 区分数(区分)	利用件数 (件数)	利用日数 (日)	利用区分数 (区分)	利用率(日)	利用率(区分)	入場者数 (人)
マルチ工房	361	1,416	839	356	911	98.6%	64.3%	9,003
ドラマ工房	360	1,364	448	337	938	93.6%	68.8%	12,478
ミュージック工房	361	50,133	10,845	361	27,443	100.0%	54.7%	30,294
アート工房	352	1,354	365	315	854	89.5%	63.1%	16,187
パフォーミングスクエア	356	25,275	4,114	353	12,590	99.2%	49.8%	34,612
里山の家	357	1,398	651	340	798	95.2%	57.1%	9,146
事務所棟	361		2,124	347	2,360			14,157
大和町広場	347		318	163				23,078
オープンスペース	365		17	17	24			2,872

【参考】俵芸術交流スタジオの令和6年度利用状況

1の1	307	921	533	241	504	78.5%	54.7%	4,683
2の1	307	921	1,012	307	816	100.0%	88.6%	2,976
2の2	307	921	1,072	307	868	100.0%	94.2%	2,143
2の3	307	921	1,065	306	855	99.7%	92.8%	2,463
3の1	307	921	1,150	307	857	100.0%	93.1%	3,745
3の2	307	921	1,038	303	811	98.7%	88.1%	1,702
3の3	307	921	1,014	307	849	100.0%	92.2%	4,290

リニューアル調査業務（令和6年度）

【主な調査内容】

○修繕・改修等調査

- ・法規制条件等の整理
- ・各施設に対する構造上の見解
- ・バリアフリー調査
- ・建築劣化・修繕調査
- ・設備劣化・修繕調査

○意見聴取

- ・指定管理者からの要望
- ・市民ディレクターへのヒアリング

バリアフリー化検討



リニューアル調査業務（令和6年度）

指定管理者からの要望

1. 施設について

〔課題〕

(1) 音楽練習施設の不足

音楽利用者が多く、ミュージック工房以外の施設も使用しているが、それでも不足している。

(2) ダンス練習施設の不足

オープン当初はそこまでの利用は見込んでいなかったと考えられるが、近年使用者が多い。

ダンス練習は、マルチ工房・パフォーミングスクエアしか使用できず、慢性的に練習場所が不足している。

〔要望〕

(1) 音楽練習場の増設（ex. 新規で建物を建てる）

(2) ダンス練習施設の増設（ex. マルチ工房→ダンス工房）

2. 駐車場について

〔課題〕

駐車場は P1～7 まで 446 台分あるが、芸術村使用者以外の駐車（通勤・通学・休憩・乗り合わせ等）が度々見られる。

イベントが重なる日や、積雪のため駐車スペースが少なくなった場合に、芸術村の利用者が駐車できないということにも繋がっている。

また、多くの車が出入りすることにより、敷地内での事故の危険性も高まっている。

〔要望〕

駐車場利用の適正化に向けた対策を講じる必要がある。

3. バリアフリー化について

〔課題〕

- ・古い建物を活かしてリニューアルした施設のため、バリアフリーに対応していない。
- ・駐車場から施設へ移動するための道が砂利道であったり、施設内に段差があるため、車いすでの移動が難しい。
- ・特に足の不自由な方については、芸術村内での移動は非常に困難となっている。

〔要望〕

- ・身障者駐車場から施設及び多目的トイレへ車椅子で移動できるように、管理道路にコンクリートを敷く。
- ・オープンスペース入口のスロープを緩やかなものにする。

4. 管理者使用スペースの不足について

〔課題〕

敷地内に、管理者が多目的に使える場所が不足しており、備品の保管や清掃員控室等には、貸し出し施設の一角を利用するしかないので、不便が生じている。

〔要望〕

- ・敷地内に多目的に使える建物を新たに建て、備品を収納する倉庫や清掃員控室等に利用する。
- ・1で提案した新設音楽練習施設と併せて建てる。（1階と2階に分ける等）

リニューアル調査業務（令和6年度）

市民ディレクターへのヒアリング

1.施設について

〔課題・要望〕

(1) 管理棟

- ・管理棟の利用者の入口が分かりづらく、セキュリティ上も良くない位置であるため、管理棟は一般に貸すことは避けたい
- ・2階和室は裸足で利用でき、様々な用途で使えるため、和室同等のスペースは必要。

(2) オープンスペース

- ・冬は寒く、夏は暑いため、対策したい。
- ・ドラマ工房に入る、もぎりスペースに空調がない。

(3) ミュージック工房

- ・スタジオの数が足りない。
- ・団体で利用できるスタジオが足りない。

(4) アート工房

- ・搬入口の拡大、搬入ルートの確保。
- ・階段状の空間は残してほしいが、車椅子の方が2階まで上がれるようにしたい。
- ・スロープ、階段の手すりがなく危険であるが常設で手すりは設置したくない。

(5) 里山の家

- ・水栓が高く利用しづらい。

(6) パフォーミングスクエア

- ・身体障がい者駐車場が近くにほしい。

(7) 外構

- ・外構の舗装に凹凸があり、車いすや台車が通りにくい。

2.その他

〔課題・要望〕

- ・入り口扉の修繕、Wi-fi対応、消火器の位置、AEDの設置位置
ドラマ工房利用者が衣装を着ている時、移動できないこともある
- ・空調の音がうるさい（ドラマ工房、アート工房）
- ・全体的に工房が足りていないため増設してほしい。ダンスで使いたい
が、使える場所が少ない
- ・芸術村を利用しない方の違法駐車が多い
- ・駐輪場はP2側にもほしい

目 的

金沢市民芸術村は市民の利用が多く、稼働率が高い一方で、平成8年の開村から30年、建築当初から概ね100年を迎えることから、施設（建築物・設備）の機能維持や長寿命化が必要となっている。

また、市民が気軽に文化芸術に触れる機会の提供や市民自らが創作活動に打ち込むことができる文化芸術活動の拠点としての機能向上とともに、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供できる新たな施設の整備を併せて検討し、伝統芸能や音楽、演劇等を含む文化芸術活動の活性化をめざす。

検討委員会について

スケジュール

年 月	会議等	内容
本日	第 1 回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 現状等の情報共有・ 新施設に求められる機能・ 既存施設の利便性・機能性の向上
2025年7月～8月	市民アンケート	<ul style="list-style-type: none">・ 7月中旬にアンケート配布・ 8月中に集計・分析
2025年10月頃	第 2 回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 機能、規模案・ 基本構想骨子案
2026年1月頃	第 3 回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 基本構想案

(1) 既存施設の修繕

■ リニューアル調査結果による既存施設の修繕・改修案

1. 建築

○部材の腐食、塗装剥がれ、クラックなど、各建物に要修復箇所が存在。

[外部]

- ・屋根板金、防水、樋の改修（雨漏り対策）
- ・柱・外壁の補修および塗装の更新
- ・トップライトのガラス・パネル交換

[内部]

- ・床・壁・天井の内装材補修および交換
- ・白アリ被害部分の木部補修後、床仕上材の張替え

2. 設備

- ・照明器具の LED 化
- ・配線器具（スイッチ・コンセント）の更新
- ・消火栓ポンプの更新
- ・非常用発電機および始動用蓄電池の更新
- ・空調、消火、給水、ガス、排水配管の更新（開村時から未更新）
- ・キュービクルの更新（開村時から未更新）
- ・空調、換気、防災設備の更新
- ・トイレの洋式化
- ・舞台装置・音響装置の更新検討

3. バリアフリー対応

- ・外構を滑りにくく起伏のない舗装に変更（通路、コロネード含む）
- ・車椅子用駐車場の新設
- ・段差のない引き戸へ改修
- ・段差解消機の設置 ※必要性・安全性を考慮（ドラマ工房、オープンスペース、アート工房）

※赤文字は機能向上

(2) 新施設の整備

■ 未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 未来共創計画(抜粋)

基本方針 ① 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～

施策方針

1

誰もが文化芸術に
親しむことができる環境の充実

取組の方向性

① 文化芸術に触れる機会の充実

- 伝統文化や音楽、アートなど、多彩な文化芸術プログラムや幼少期からの継続的な文化芸術体験の提供などを通して、より身近に文化芸術に触れる機会の充実に努めます。

② デジタル技術を生かした文化の共有

- 最先端のデジタル技術を活用し、文化施設の魅力や本市で活躍する工芸作家及び職人の作品・技術を広く国内外に発信することで、文化芸術への興味・関心を高め、文化の共有を図ります。

③ 文化芸術に携わる多様な主体の活動支援

- 市民・文化芸術団体・実演家・文化施設・教育機関・民間事業者などの連携・協働の促進に向けた機能の充実・強化を通して、文化芸術に携わる多様な主体の活動を支援します。

④ 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進

- 文化芸術・スポーツの活動基盤となる施設の整備を推進するとともに、魅力の向上とイベント等を充実し、施設の利用を促進します。



文化芸術イベント



金沢市民芸術村



主要施策

① 文化芸術に触れる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間を通じたまちなかでの文化芸術体験の推進 ● 多彩な音楽イベントの開催 ● 子どもの文化芸術体験の機会充実
② デジタル技術を生かした文化の共有	<ul style="list-style-type: none"> ● 金沢ミュージアム*の運営 ● デジタル工芸展の充実
③ 文化芸術に携わる多様な主体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ● アーツカウンシル金沢の充実・強化
④ 文化芸術・スポーツの活動基盤の整備と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 金沢市民芸術村のリニューアル ● 金沢21世紀美術館の魅力向上 ● 地域のスポーツ施設の整備 ● 文化・スポーツ施設におけるイベント等の充実

主な施策

魅力づくり

KPI(重要業績評価指標)

市民意識指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
文化芸術に触れたり体験したりする機会が多いと感じている市民の割合	85.3% (R5年度)	90%以上	90%以上を維持

施策指標

指標内容	基準値	中間目標値 (R10年度)	最終目標値 (R15年度)
デジタルミュージアムのビュー数	R5年度運用開始	123,000ビュー	198,100ビュー
アーツカウンシル金沢の活動支援件数	93件 (R4年度)	195件	270件
文化芸術活動場所の利用状況	96.5% (R4年度)	95%以上を維持	
市スポーツ施設の利用者数	221.4万人 (R1年度)	235.4万人	240.4万人

(2) 新施設の整備

■ 方向性（案）

- ① 文化芸術の担い手や支え手の育成とともに、将来的な部活動の地域移行(地域展開)も見据え、子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供
- ② 既存施設の機能を補完し、芸術村全体の利便性や拠点機能を向上させ、さらなる利用促進を図る

(2) 新施設の整備

■ 子供の文化芸術体験の充実

○ 中学校 文化部活動の地域移行（地域展開）

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する
実行会議」最終とりまとめ（R7.5.16）より
（文化庁・スポーツ庁）

改革の理念

- ・ 将来にわたって生徒が継続的に文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
※学校における働き方改革の推進等を考慮
- ・ 地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障

今後の改革の方向性

休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において
地域展開の実現を目指す

○ 平日以外（土日祝）で活動している文化部活動（R6年度金沢市文化系部活動地域移行検討調査）

名称	学校数	人数	活動場所	その他
吹奏楽部	20校／全20校	平均46名 (81～24名)	学校の音楽室 (パート練習では普通教室などを複数利用)	コンクール等が近くなれば外部ホール (歌劇座・文化ホール等)
合唱部	2校／全3校	平均17名 (21～12名)	学校の音楽室、外部ホール	
華道部	1校／全4校	平均18名	—	—
科学部	1校／全11校	平均27名	—	—

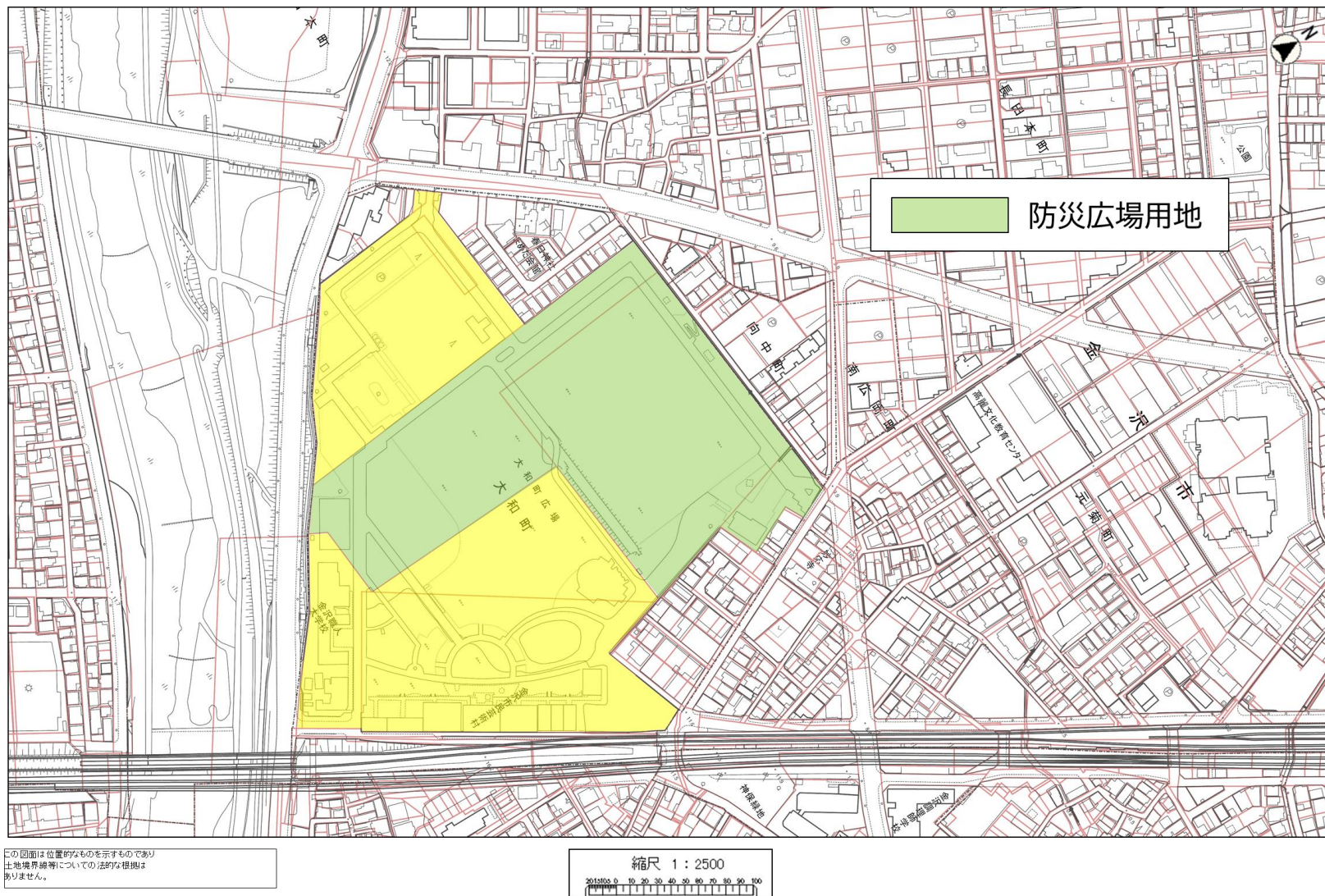
○ 今年度の取り組み

文化部活動地域移行モデル事業

吹奏楽部・合唱部各1校を地域クラブとしてモデル事業を実施

(2) 新施設の整備

■ 建設場所の検討



(2) 新施設の整備

■建設場所の検討

検討にあたっての留意点

- 敷地内の一部が防災広場用地となっている
- 西側（図の上方）はマンションや民家に隣接している
- 利用者が多く駐車場は不足気味である

(2) 新施設の整備

■ 建設場所（案）

敷地の現況



- 新施設に求められる機能
- 既存施設の利便性・機能性の向上

- **名古屋市演劇練習館 アクテノン**
- **北九州市立大手町練習場**
- **富山市民芸術創造センター**

参考 他都市事例（練習施設等）

名古屋市演劇練習館 アクテノン（愛知県名古屋市）

延べ床面積 2,996㎡、うち練習室合計面積 1,195㎡

外観



施設名称	名古屋市演劇練習館 アクテノン
所在	名古屋市中村区稲葉地町1丁目47番地
運営	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団
開設	1995年12月
施設内容	リハーサル室、大練習室、小練習室、和室、研修室、資料室、事務室
面積	リハーサル室：376㎡ 大練習室：465㎡（93㎡×5） 小練習室：189㎡（63㎡×3） 研修室：133㎡（64㎡・69㎡） 和室：18畳
施設目的	演劇を中心とした舞台芸術の練習専用施設
入場料	有料

参考 他都市事例（練習施設等）

名古屋市演劇練習館 アクテノン（愛知県名古屋市）

リハーサル室



主な用途

演劇の稽古だけでなく、ダンス、音楽、フィットネスなどの練習

部屋数 1 部屋

面積 376㎡

定員 100名

大練習室



主な用途

演劇・舞踊・音楽などの様々な舞台芸術の稽古や練習

部屋数 5 部屋

面積 93㎡

定員 30名

小練習室



主な用途

演劇・舞踊・音楽などの様々な舞台芸術の稽古や練習

部屋数 3 部屋

面積 63㎡

定員 20名

参考 他都市事例（練習施設等）

北九州市立大手町練習場（福岡県北九州市）

延べ床面積 2,062㎡、うち練習室合計面積 750㎡

外観

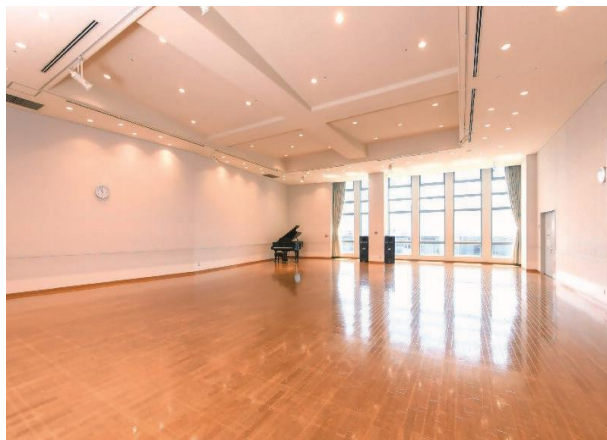


施設名称	名古屋市演劇練習館 アクテノン
所在	福岡県北九州市小倉北区大手町11番4号 大手町ビル9階・10階
運営	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
開設	1995年7月
施設内容	大練習室、中練習室、小練習室、会議室、事務室
面積	大練習室：235㎡、中練習室：223㎡（133㎡・90㎡）、小練習室：292㎡（55㎡・47㎡・27㎡・40㎡×2・45㎡・17㎡・21㎡・） 会議室：104㎡（51㎡・27㎡・26㎡）
施設目的	音楽・演劇・舞踊をはじめとする市民の芸術活動を支援する芸術文化施設
入場料	有料

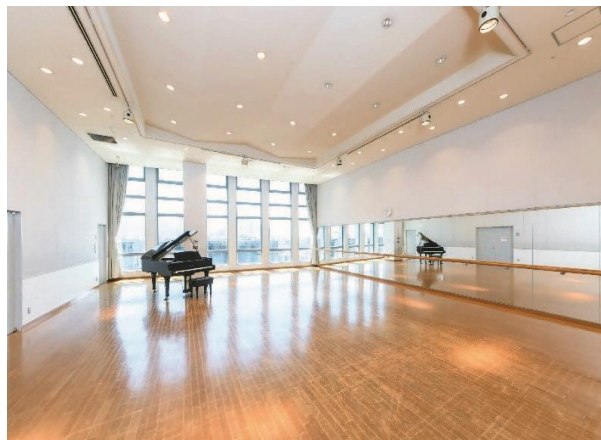
参考 他都市事例（練習施設等）

北九州市立大手町練習場（福岡県北九州市）

大練習室



中練習室



小練習室



主な用途

音楽、演劇、バレエ、ダンス等の練習

部屋数 1 部屋

面積 235m²

主な用途

音楽、演劇、バレエ、ダンス等の練習

部屋数 2 部屋

面積 113m²・90m²

主な用途

音楽、ダンス等の練習

部屋数 8 部屋

面積 17m²～55m²

参考 他都市事例（練習施設等）

富山市民芸術創造センター（富山県富山市）

延べ床面積 9,315㎡、うち練習室合計面積 2,989㎡



施設名称	富山市民芸術創造センター
所在	富山市呉羽町2247-3
運営	公益財団法人 富山市民文化事業団
開設	1995年9月
施設内容	舞台稽古場、リハーサル室、大練習室、中練習室、練習室、研修室、舞台美術政策室、アトリエ
面積	舞台稽古場：550㎡、リハーサル室：470㎡、大練習室：1,160㎡（241㎡・185㎡・203㎡・255㎡・276㎡）、中練習室：240㎡（120㎡・120㎡）、練習室：569㎡（23㎡×5・14㎡×22・26㎡×4・21㎡×2）、研修室：98㎡（49㎡×2）、舞台美術政策室：88㎡、アトリエ：160㎡
施設目的	音楽・演劇・舞踊・美術等の芸術分野の創作・練習施設
入場料	有料

参考 他都市事例（練習施設等）

富山市民芸術創造センター（富山県富山市）

大練習室



主な用途

比較的大人数によるダンス、音楽、演劇等の練習

部屋数 5 部屋

面積 $185\text{m}^2 \sim 276\text{m}^2$

定員 70名～90名

中練習室



主な用途

数名～30名程度のダンスや音楽、演劇等の練習

部屋数 2 部屋

面積 120m^2

定員 40名

練習室



主な用途

数名程度の音楽や演劇等の練習

部屋数 34部屋

面積 $14\text{m}^2 \sim 26\text{m}^2$

定員 4名～10名